学校評価について

「栗の木」十月号では七月までの取組を踏まえた学校評価（中間評価）の結果を掲載しました。今回は十二月に実施した学校評価の結果がまとまりましたので改善方策等とともにその一部を紹介します。

※以下に示す%は設問に対して「よくあてはまる」「どちらかというとよくあてはまる」と肯定的な回答の割合を示す。（単位は%）

＜確かな学力と主体的な学び＞

児童	授業中先生や友達の話をよく聞いている。	95	71	88
	授業中進んで発表している。	95	73	89
教員	ノートやワークシートに自分の考えが書けている。	7月	12月	
	自分の考えをもち、友達と交流しながら学習を進めている。	89	89	
保護者	ノートや発表などで自分の考えを深めている。	91	89	
	お子さんは学習の習慣が身に付いている。	71	70	

授業中の発表やノートに、自分の考えを表現することができつつある。今後、引き続き学習習慣の確立による基礎基本の定着、自分の考えをしっかりもった上での高め合う交流ができるようにしていきたい。

＜道徳教育＞

児童	友達にやさしい言葉をかけたり、助けたりしている。	91	88
教員	児童の道徳ノートやワークシートに表現された内容や行動から道徳的実践力の高まりが見られる。	76	65
保護者	お子さんには思いやりのあるやさしい心が育っている。	91	92

道徳の時間を中心に、日常生活との関連や、家庭との連携等によって児童に道徳的心情や実践力が育ちつつある。さらに伸長を図っていきたい。

＜自己指導力を育てる生徒指導＞

児童	学校のきまりをよく守っている。	89	84	89
	廊下を正しく歩いている。	91	84	89
教員	友達や先生に明るく進んであいさつしている。	82	84	89
	児童は学校のきまりをよく守っている。	71	47	76
保護者	児童は廊下を正しく歩いている。	58	36	73
	児童は友達や先生に明るく進んであいさつしている。	74	86	75
	学校は、あいさつ・廊下歩行などの指導に重点をおいて取り組んでいることが分かる。	74	88	75
	お子さんはあいさつができている。	84	81	87

児童の様子やアンケート結果から「きまりを守る」という規範意識は育っていると考えられる。あいさつについては七月よりもよくできるようになっており、自分から進んでできる児童が増えてきているが、さらなる努力が必要である。正しい廊下歩行については児童の意識は七月と変わっていないが、日常の児童の様子からは課題が見られ、今後改善に向けてのさらなる手立てが必要である。

＜健康・安全教育＞

児童	早寝・早起き、うがい、手洗いなどがきちんとできている。	81	82
	マナーを守って好き嫌いなく食べることができている。	88	93
教員	児童は基本的な生活習慣を身に付け、健康に過ごすことができている。	64	81
	児童はマナーを守って好き嫌いなく食べることができている。	67	66
保護者	お子さんは、うがい・手洗いなどインフルエンザにかからないための予防をしている。	74	79
	「早寝・早起き・朝ごはん」運動で家族一緒に生活リズムの向上に努めている。食べることができている。		

学習状況調査結果より

今年度から全面実施となった新学習指導要領の内容を踏まえ、三・四年生は国語・算数・理科・社会の四教科について実施されました。

正答率は全学年、全教科とも県平均を上回っていました。特に「思考・判断・表現」の調査内容についての正答率が県平均を大きく上回っています。

今回の調査結果を今後の授業改善に役立てるために、全学年児童に共通する傾向を課題を中心に分析しました。

〈国語〉
・漢字の問題等言語事項に関する問題は習熟度が高い。
・読解では、中心となる文や語をとらえられていない傾向がある。
・文章表現では、文章がねじれていたり、根拠が正確に述べられていなかったりしている。

〈算数〉
・少人数指導や放課後個別指導の設定等によって知識・技能の習熟が図られている。
・文章題の題意がつかめず、まちがった演算決定をしている。
・考えの記述問題で無答が多い。

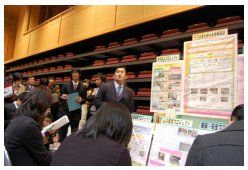
〈社会〉
・資料を読み取ることができているが、文章で表現することが不十分である。

〈理科〉
・論理的思考力に課題が見られる。

〈課題の改善〉

今後、各教科において自分の考えをまとめ、根拠を示しながら書いたり、伝え合ったりする言語活動を積極的に取り入れるなど授業改善を図っていきます。また、既習内容となげて学習を進めることで既習内容の確実な定着や発展を図り、児童にとって分かりやすく楽しい授業の構築に全教職員で取り組んでいきたいと考えています。

「香川の教育づくり発表会」で発表

一月五日に丸亀市綾歌総合文化会館アイレックスにおいて、県教育委員会主催の「香川の教育づくり発表会」が行われ、いくつかの小中学校が特色ある教育実践を発表しました。その中の一つとして本校も今年度の取組を発表し、児童の基本的な生活習慣や、豊かな心を基盤とした学力育成について大勢の教員に伝えました。

発表を聞いた他校のたくさんの教員から多くの貴重な意見が聞かれました。これらの貴重な意見を今後の児童の育成に生かしていきたいと思います。